

成生まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

成生地域

令和元年9月25日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 天童市に移り住み、その後、転勤等で各地を転々とした後、天童に戻ってきて生活をし、改めて天童市の良さを実感しています。</p> <p>一部の都市部を除いて、少子・高齢化、人口減少が大きな課題となっている中、令和10年に天童市の人口7万人を目指して、長期展望に立ち、人口増加ビジョンを策定すべきと考えます。</p> <p>天童には、以下のような利点があると思います。</p> <p>(1) 四方八方を山で囲まれ、緑が多く、四季がはっきりしている。平地も多く、比較的雪が少ないなど、自然環境が良い。</p> <p>(2) 高速道路の充実・空港への短時間移動などにより、アクセスが良い。</p> <p>(3) 広大で平坦な地域が多く、豊富な農産物と広大な農地がある。</p> <p>(4) 地震や台風などの自然災害が極めて少ない。</p> <p>(5) 企業が多く、豊かな人材がいる。</p> <p>これらの利点を活かしながら、今後8千人を増やすため、以下のようなまちづくりを進めてはいかがでしょうか。</p> <p>(1) 広大な土地を数箇所住宅地として開発する。</p> <p>(2) 居住者は、海外の人も含め、基本的にIターン・Uターンに来てもらう。</p> <p>(3) 移住の年齢層は、20歳代から50歳代の若手を中心とする。</p>	<p>市長公室</p>	<p>これまで本市では、まちづくりの指針となる総合計画を策定し、改定を重ねてきました。過去の総合計画では、人口目標7万人を掲げた時代もありましたが、現在の第七次天童市総合計画での人口目標は、令和6年(2024年)で6万2千人を維持するとしているところです。</p> <p>日本全体が人口減少の状況にあるほか、地方においては、東京一極集中と言われる首都圏への転出超過が依然として続いており、このような大きな社会の流れの中にあっては、本市の人口を増加させていくことは非常に難しいと思われまます。企業誘致も含めた産業の活性化や子育て支援をはじめとする福祉の充実、小中学校における地域学習や進学における支援といった教育面における取組など、一つの施策だけでなく、幅広い分野において総合的なまちづくりをしていく必要があります。いただいた御意見等を参考にしながら、より一層、魅力的なまちづくりとなるよう取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>本市は、効率的、効果的まちづくりができるまちであり、スマートインターチェンジの整備や、モンテディオ山形のスタジアム建設などにより、より一層、魅力を高められるものと考えています。また、周辺集落の人口減少などの課題もあるため、バランスを考慮</p>

成生まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

成生地域

令和元年9月25日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>豊かな農地を生かし、農業従事者や起業家を大歓迎する。</p> <p>(4) 居住者には、農地、せめて家庭菜園ができるような農地を提供するとともに、農業従事者にはメリットのある対応を考える。</p> <p>(5) 企業立地の強化を図る。</p> <p>天童市はまだまだ伸びしろがあると思いますので、市民・産業等が一丸となって推進できるビジョン策定ができたかと考えます。</p>		<p>し、地域コミュニティを守りながらまちづくりをしていく必要があると思います。皆様とともに、明るい未来をひらいていけるよう、まちづくりをすすめていきますので、御理解と御協力をお願いします。</p>
<p>② 成生第二児童クラブについて、床のゆがみ、玄関からの雨風の侵入などの問題に対し、速やかに改修していただき感謝申し上げます。</p> <p>プレハブ型の成生第二児童クラブは、温度・衛生面・防犯面、子どもたちが安全・安心に生活できる環境ではない状況であることから、リース期間終了後に新たな施設整備をしてほしい旨の要望書を、平成31年3月28日に提出させていただきました。また、先日9月17日には、夏の温度調査の結果を子育て支援課に提出しました。子どもたちが生活する室内は、午前10時30分から28度以上となり、午後4時30分まで継続していました。</p> <p>当要望の進捗状況について教えていただければと思います。</p>	<p>子育て支援課</p>	<p>成生第二児童クラブについては、入所児童数の増加を受け、成生児童クラブ協会と協議のうえ、ユニットハウスを活用して平成29年4月に開所しました。現在のユニットハウスは、以前のプレハブよりも性能が良くなっていることから導入した経過がありますが、生活の場として十分でない点も見られたため、そのような点についてはその都度対応しているところです。</p> <p>このユニットハウスは、リース期間である令和4年2月までは使用し、その後については、成生小学校の児童数及び成生児童クラブへの入所児童数を見極め、建て替えを含めてさまざまな方法について検討したいと考えています。</p> <p>共働き世帯が増え、放課後に子どもたちが遊んだり勉強したりする場所を適切に確保することは必要であると十分認識していますので、御理解願います。</p>

成生まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

成生地域

令和元年9月25日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>③ 昨年の成生まちづくり懇談会で、老人クラブ補助金申請について提言をさせていただきました。昨年までは老人クラブの活動費の補助金3万円の申請のために、市役所に2回行き、11枚の書類を作成しましたが、おかげさまで、今年はスムーズに申請をすることができました。ありがとうございました。</p> <p>高齢者が病院や介護に頼らず、健康で過ごすために、市民憲章では「仲間づくりをすすめましょう」と言っていますが、高齢者を老人クラブに誘っても、「デイサービスに行くから」などと言って仲間づくりに参加しません。</p> <p>私たちの老人クラブでは、仲間づくりのため、これまでの事業を見直し、町内会長や公民館長の協力を得て、新たに麻雀教室とレコードコンサートの2つの事業を実施することにしました。しかし、麻雀教室の開催について、町内会長の許可を得て回覧板で広報を図ったら、囑託員からなぜそのような回覧をしなければならないのだと叱られたり、農繁期は忙しいので、農閑期にレコードコンサートを開催しようと思っても、冬期間はレコードコンサートの出張を行っていないということもありました。</p> <p>老人クラブのみならず、婦人会も弱体化しています。高齢者教室を実施する記事を館報に掲載して</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>高齢者の皆様には、健康づくりや生きがいづくり、介護予防等のために、いきいきサロン、高齢者教室、老人クラブなどの様々な機会を御利用いただき、元気な老後を楽しんで頂きたいと考えています。御指摘のように老人クラブについては、どの地区も減少傾向にあります。地区の広報紙や市報等で、老人クラブでの活動をお知らせする広報活動など、行政として出来る働きかけを行っていきたいと思います。</p> <p>いきいきサロン等は、保険給付課からの委託を受け、市社会福祉協議会が各地域社会福祉協議会や町内会などの実施団体に助成して、その実施団体が高齢者の居場所づくりや介護予防に取り組むものです。高齢者の皆さんは、希望する内容の時に自由に参加することができます。</p> <p>一方、老人クラブは、地域の高齢者が仲間づくりや健康づくり、社会参加などを目的として自ら組織する団体で、目的に沿った事業の計画をたて、自ら運営するものとなっており、役員の方への負担も大きくなっています。市ではその目的遂行のために補助金等を交付し、活動を支えています。老人クラブの運営自体が高齢者の重荷にならないよう、楽しみながら活動して頂きたいと考えています。</p> <p>また、主な活動の場所である公</p>

成生まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

成生地域

令和元年9月25日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>もらっても、館報は高齢者はあまり見ません。活動の中心となる人がおらず連絡方法もないことから、公民館にも関わってもらえないかなどお願いできないでしょうか。</p>		<p>民館と連携したり、活動内容に応じて、講師として市職員を派遣したりできるので、その際は相談していただきたいと思います。</p>
<p>④ 市長から、住みよさランキングとふるさと納税の話がありました。この中で、新たな指標となった人口当たりの交通事故件数が高いことが、指標を下げているという話がありましたが、なぜ、天童市は道路もいいのにこんなにも事故発生件数が多いのでしょうか。驚いているところです。</p>	<p>市長公室</p>	<p>住みよさランキングは、東洋経済新報社が独自の指標に基づき算出しています。今年度指標が大幅に変更され、本市の順位は結果的に全国では昨年度の34位から125位に、県内では昨年度の1位から3位にランクが下がりました。ランキングが変動した要因としては、安心度の指標で順位を下げたことが考えられます。安心度では、新たな指標となった人口当たりの交通事故件数が高いことで、順位を下げた一つの要因と思われます。これらの指標については、まちづくりの一つの道標として、参考にしていきたいと考えています。</p> <p>交通事故については、市内で発生した事故件数であり、市民以外の事故も含まれます。本市が交通の要衝であり、国道13号をはじめとしてかなりの台数の車が通ることから、事故発生件数が高くなっている状況にあります。減少傾向にはありますが、県内では非常に高いので、今後一層の取組を進めていく必要があると考えています。</p> <p>ふるさと納税については、県内では寒河江市や米沢市に水を空けられていましたが、国の制度変</p>

成生まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

成生地域

令和元年9月25日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>更が示された今年4月以降は1位となっている状況です。適正できちんとした本市のブランドを全国に発信できるような仕組みのもとに、今後も頑張っていきます。</p>
<p>⑤ 提言①の産業団地の話の際に、企業誘致が県内の移動に使われており、今後は県外からの企業を誘致していきたいという話がありました。企業の移転に関しては、会社の活性化のため、あるいは利便度のために移転したいという会社もあると思われるので、天童市の産業発展のためにも、県外の企業に限らず、県内の市町村からの移転があってもいいと思います。が、いかがでしょうか。</p>	<p>産業立地室</p>	<p>近年整備してきた荒谷西工業団地や天童インター産業団地につきましては、市内企業を含む多くの県内外の企業から立地していただいているところです。</p> <p>現在整備を進めている山口西工業団地につきましては、新たな雇用を生み、山形県全体の地域活性化を生み出すためにも、県内企業はもとより、県外企業も含めて誘致を図ってまいります。</p> <p>なお、分譲する区画につきましては、小規模に分割せずに一定の大きさを確保して誘致してまいります。</p>